

「2021年3月ダイヤ改正について」提案交渉②

3. 各線区における主な輸送改善

(3) 羽越線

- ①ご利用状況にあわせ、道川駅～秋田駅間、吹浦駅～酒田駅間の列車2本をとりやめ、輸送力の適正化を図る。
- ②南鳥海駅副本線を使用停止し、メンテナンス作業の軽減を図る。

(4) 男鹿線

- ①「EV-E801系」を追加投入し、中編成ワンマン運転を行う。

組合

- ・ワンマン拡大に伴い、汚物など運転士が対応することになるので教育が必要ではないか。
- ・試運転で運転時分に余裕がないという声がある。この時間で運転するダイヤを組んでいるのか？
- ・臨時列車などで車掌は男鹿線に乗り入れすることは無いのか？

会社

- ・後日方向性を示す。周知方など今後の課題としていきたい。
- ・車両性能上可能な時間で試運転を行っているが、実際は余裕を持ったダイヤで組んでいる。
- ・その都度検討することになるが、必ずワンマンで運用する考えはない。

- ②男鹿駅下り1番線を使用停止し、メンテナンス作業の軽減を図る。

(5) 五能線

- ①五能線のすべての列車に「GV-E400系」を投入し、五能線沿線並びに秋田、津軽エリアの更なる活性化を図る。

組合

- ・車両故障が発生した場合の対応に不安がある。無線機が繋がりにくい箇所もある。

会社

- ・無線が通じない場合は業務用携帯電話や沿線電話などを活用し連絡体制を取り対応していく。

- ②ご利用状況にあわせ東能代駅～能代駅間の列車3本をとりやめ輸送力の適正化を図る
- ③輸送体系を見直し、効率的な車両運用を図る。
- ④接続体系を見直し、利便性向上を図る。

(6) 花輪線

ご利用状況にあわせた輸送体系に見直し、一部列車の運転区間を変更する。

No.34へ続く